未来の子みんなの絆で輝く瞳

「令和８年度全国学力・学習状況調査結果の概要等をお知らせします」

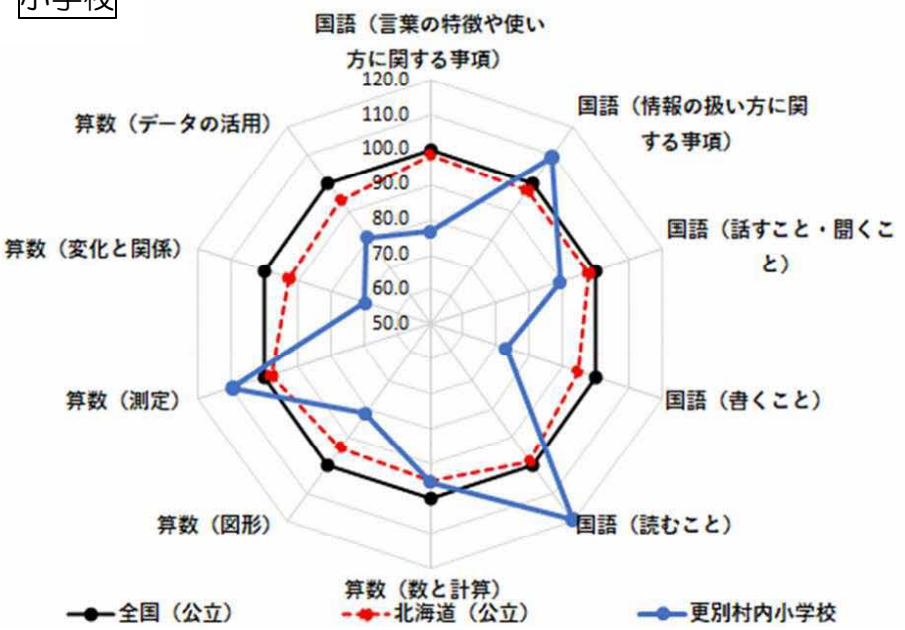
更別村教育委員会　令和８年 10 月

本年度、４月 23 日を基準日として、小学校６年生と中学校３年生を対象に「全国学力・学習状況調査」を実施しました。このほど結果がまとまりましたので、そのおおまかな内容についてお知らせします。この結果は、今まで学んだことの一部を調査した結果であり、全てではございません。結果をもとに、家庭・学校・地域で力を合わせ、生涯にわたり学習する基盤が培われるよう子どもたちの学ぶ喜びを高めていきましょう。

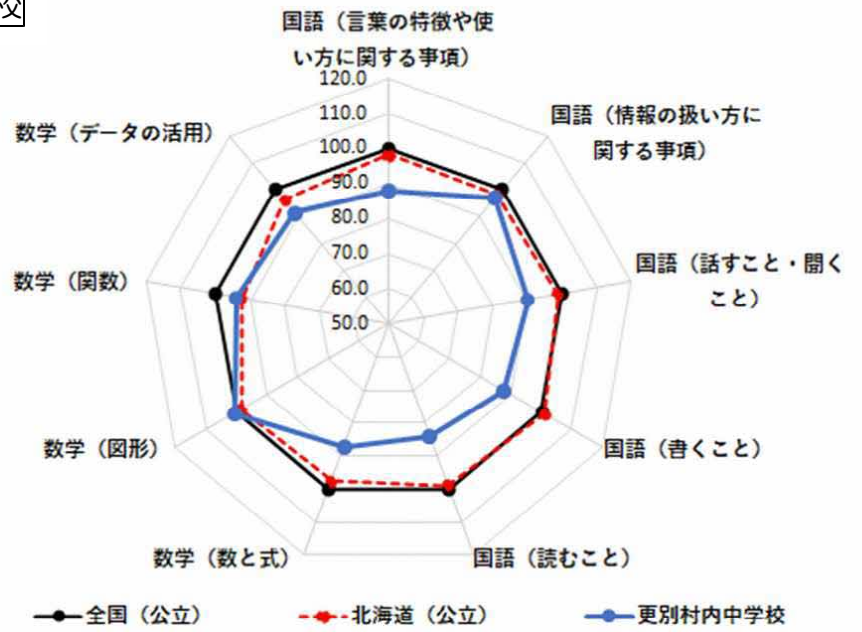
1　全国学力・学習状況調査結果概要

＊下の図は全国の状況を 100 として、北海道と更別村の状況を比較したものです。

小学校

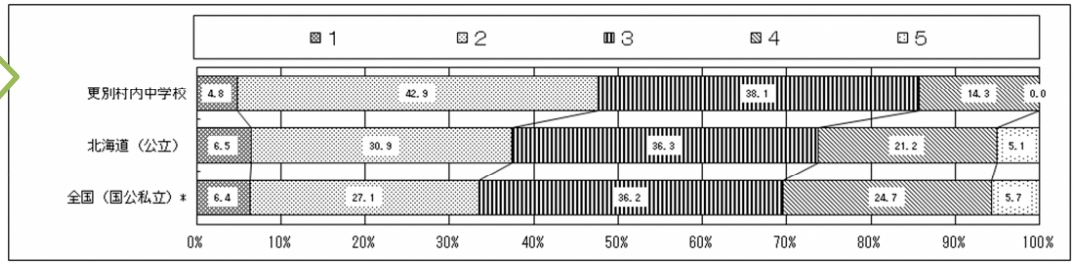


中学校



今年度の中学校英語は、CBT 方式（「Computer Based Testing」の略で、コンピューター上で実施する試験方式）で実施され、結果が IRT スコア・IRT バンドにより示されています。本紙では IRT バンド分布比較グラフを掲載させていただきました。IRT バンドとは個人の学力を１から５までの５段階で示した指標です。数字が大きいほど高い学力層を示し、「３」が全国の基準となります。分布比較グラフを見ると、更別村内中学校は北海道・全国と比較し、上位層（５，４）が少なく、下位層（２，１）が多いことがわかります。

【中学校英語 IRT バンド分布比較グラフ】



2　児童生徒質問等に関する調査結果から見えてくること

【村内３校に共通すること】（〇は良さ　＊は努力目標）

〇 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」、「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」「将来の夢や目標を持っている」と回答している子どもの割合が全国に比べて高い。
＊ 困りごとや不安がある時には、家族や先生、地域の大人に積極的に相談しましょう。
＊ わからないことやできなかった問題をそのままにしないで、調べたり、聞いたり、解き直しをしたりしましょう。
＊ 学校の授業時間以外に、家庭での勉強（自分に必要な学習を自分で考えて取り組む等）を習慣化しましょう。
（時間の目安：小学生は「学年×１０分＋１０分」、中学生は「学年×３０分＋１時間」）

3　更別村コミュニティ・スクール（ＣＳ）として特に取り組むこと（ＣＳアクションプランより）

目指す子どもの姿（重点化）

（学び）自ら考え判断し、課題解決できる子ども　　（心）自分を大切にできる子ども
（体）根気強くがんばる子ども　　（郷土愛）いつもどこかに「更別」がある子ども



家庭の取組



（学び）子どものやる気を引き出す声かけやサポートをする。
（心）子どもの良さをたくさん認める。
（体）子どものチャレンジを家族で見守り、応援する。
（郷土愛）地域の活動や行事に参加する。





学校の取組



（学び）「分かった」「できた」と思える授業づくりをする。
（心）子どもが安心して過ごせる居場所をつくる。
（体）体育の授業、行事、休み時間などで十分な運動の機会を確保する。
（郷土愛）ふるさと教育の充実を図り、更別への理解を深める。





地域の取組

（学び）学校や地域での子どもの学びを支援する。
（心）良いところは褒め、悪いときには叱る。
（体）少年団・部活動に、いろいろな形で応援や支援をする。
（郷土愛）子どもにとって安全で安心できる地域をつくる。



・教育委員会では、「学力・体力向上等サポート会議」を開催し、村内３校の取組をサポートしています。